

オープンダイアログ・トレーニングコース

－ ダイアログ実践の基礎コース －

オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン(ODNJP)

2016年11月15日

オープンダイアログは、フィンランド・西ラップランド地方のケロプダス病院で開発された急性精神病へのアプローチ手法です。その後の研究と実践において、さまざまな精神障害に対しても有効であることが確かめられ、国際的にも注目を集めています。

わが国においても2013年に映画「オープンダイアログ」が紹介されて、医療関係者を中心に関心が広がり、各地で講演会や自主的な勉強会が開催されています。精神医学関連の諸学会でもシンポジウムや教育講演が開催されるなど、オープンダイアログへの期待と関心は高まる一方です。

私たちは2015年に「オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン(ODNJP)」という組織を立ち上げ、この方法の普及啓発を進めてきました。2016年5月に私たちが主催したヤーコ・セイックラ教授とトム・アンキル教授によるオープンダイアログ・ワークショップには、200名以上の専門家が参加し、熱気に溢れる対話が繰り広げられました。しかし、臨床現場での応用については、限られた文献とアドバイスを頼りに、少しずつ試行錯誤を続けているのが現状です。

今回、「オープンダイアログ」の本拠地であるケロプダス病院から、看護師のミア・クルティさん、精神科医のカリ・ヴァルタネンさんを招聘して、日本で初めての本格的なトレーニングコースを開催する運びとなりました。多忙な日常臨床の合間をぬって、私たちの要請に快く応じてくださったお二方に深く感謝いたします。

薬物や入院に極力頼らず、治療チームと患者ネットワークとの「対話」のもとで、修復と改善が起こるということ。その過程のすみずみまでが民主的で、透明性が保たれているということ。そこには神秘も奇跡ありません。ただのまっとうな「対話」があるばかりです。

オープンダイアログは、誰でも実践に参加できるほど、間口のひろいアプローチです。しかし、研修やスーパーバイズを受けることによって、そのポリフォニックな対話空間は、無限に広がっていく可能性を秘めています。本研修は、実践のライセンス取得を目的とするものではありませんが、あなたの臨床活動や対話のありように、広がりと深さをもたらし、実り豊かなものにしてくれるでしょう。

私たちODNJPは、多くの方々の参加を歓迎いたします。

トレーニングコースの目的

- ・ オープンダイアログについて知識を深める。
- ・ ダイアログの実践を体験的に訓練する。
- ・ グループやネットワークにおいてリフレクティング・プロセスを行う訓練をする。
- ・ 職場や日常生活の場で、ダイアログ実践を促進する。

ダイアログ実践の特徴と長所

職場や日常生活の場において、対話的な実践を導入することによって、より民主的・人道的コミュニケーションと人間関係を築くことを促す。

介助・支援、家族相談、教育・コミュニティワーク現場などで実践することにより、相互のリソースを協働的に引き出すことを促す。

受講対象者

精神保健医療福祉領域の専門職の方。

(例：医師、看護師、保健師、ソーシャルワーカー、作業療法士、臨床心理士等の心理職など)

受講要件

- ODNJP(オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン)のメンバー（正会員と賛助会員）
- グループワークを重視するために、同じ施設・団体・法人ないしは地域から複数で参加できる方を優先します。
- 臨床現場でダイアログを実践に应用可能な立場の方を優先します。

期間	2017年5月～11月
定員	40名
講習日と時間	<p><u>コース実施日</u>：</p> <p>5月5日（金）、6日（土）、7日（日）</p> <p>5月12日（金）、13日（土）、14日（日）</p> <p>9月1日（金）、2日（土）、3日（日）</p> <p>9月8日（金）、9日（土）、10日（日）</p> <p>11月3日（金）、4日（土）、5日（日）</p> <p>11月10日（金）、11日（土）、12日（日）</p>

	<p><u>全 6 回の週末（金土日） 20 時間 × 6 回 = 合計 120 時間</u></p> <p>金曜日：18 時-22 時</p> <p>土曜日：9 時-17 時</p> <p>日曜日：9 時-17 時</p>
プログラム	<p><u>プログラム：</u></p> <p>金曜日：理論（+演習）</p> <p>土曜日：理論+演習</p> <p>日曜日：リフレクティング・プロセス、スーパーバイジング</p> <p><u>スーパーバイジングないしは一般公開セミナー：</u></p> <p>5 月、9 月、11 月の 2 週末のセミナーを挟んだ週日（月-木）の間で、1 日のスーパーバイジングないしは一般公開セミナー</p> <p>特別トピック：</p> <p>コース期間中に 1~2 日は講習生が提案する特別トピックスを取り上げます。</p> <p>最終の週末には、特別ゲストを招いて、ローカルなコンテキストによるオープンダイアログ実践の経験を参考にさせていただきます。</p>
開催地	<p>太田区産業プラザ・都内の施設（予定）</p>
自主講習	<p><u>各グループで行う自主講習：</u></p> <p>1 日 × 計 3 回 = 合計 3 日</p> <p><u>自主講習実施月：</u></p> <p>6 月、7 月、10 月（実施日と場所は未定）</p>
実習訓練	<p>自分の職場において自主的にダイアログ実践</p>

理論学習	講師より関連資料・著書リスト（日本語）が紹介されます。
講師	<p>主任講師：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Kari Valtanen : <p>公認オープンダイアログトレーナー・ケロプロダス病院、精神科医・家族療法士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Mia Kurtti : <p>公認オープンダイアログトレーナー・ケロプロダス病院、精神科看護師・家族療法士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他、国内の講師（自主講習担当）
受講料	40 万円
受講申し込み	ODJNP のホームページより、オープンダイアログ・トレーニングコース申し込みフォームをご利用ください。
受講証	別に定める出席率に達した方には受講証を発行いたします。
重要事項	当コースは、オープンダイアログのセラピストやファシリテーターやトレーナーの養成コースではありません。よって、当コースを履修しても、精神療法行為を行うオープンダイアログ専門セラピストや、オープンダイアログ実践の人材養成や指導を行うオープンダイアログ専門トレーナーとしての公認の資格を得ることはできません。

理論学習のテーマ（案）

1. トレーニングプロセスと参加者の紹介
2. ダイアログとは
3. 精神的クライシスにおけるダイアログ実践
4. 異なった治療アプローチの統合におけるダイアログ
5. 異なった社会ネットワークにおけるダイアログ
6. 急性期の精神的クライシスにおけるダイアログ
7. 家族支援と養育におけるダイアログ
8. 評価とトレーニングのまとめ

主催：オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン(ODNJP) <http://www.opendialogue.jp/>

お問い合わせ先：オープンダイアログ・トレーニングコース事務局

odtrainingcourse2017@gmail.com